

## ・若杉聖子の白磁。

2016 12月17日.土 - 12月25日.日

作家在廊日 17日(土)

open 11:00 - 18:00 定休日 21日(水)

若杉さんが、一年間の文化庁派遣のフランス留学から帰ってきて、京都でお会いした。

昨年の暮れに“一年後のクリスマスの個展ですが、いいですか”の一言で本当にやって下さることになったのです。

受け入れ先のフランス リモージュの学校は、窯業地ということもあり、若杉さんの仕事である鑄込みの設備が、整っていたそうです。

鑄込みの仕事は、溶かした土を型に流し込み、焼き上げて型から外したあとは、ひたすら磨いて仕上げるそうです。若杉さんの作品から、僕を感じる、鋭さと、柔らかさ、奥が透けているように見える白磁は、こうした手をかけた仕事からうまれてくるのでしょうか。

滞在中は、制作だけでなく、積極的にたくさんものを見て、いろいろな経験をし、想像力を活気づけていたという若杉さんですが、一人異国で暮らすことで、日本を意識するようになり、様々な場面で「違い」を感じ、そのことにより日本について考えるようになったと。

若杉さんは、この写真のようなオブジェのほかに、うつわも多く作られます。このことについて、オブジェのようなアートのものは、自分の好きなように表現できる。一方うつわは、アートとして見られない傾向もありますが、日本の陶芸は、うつわから始まっているともいえる。うつわのような日常のものを作ることは、制約があるので、そのことでより自分が鍛えられる、という若杉さん。この言葉は、フランス留学で、日本を意識したということと、通じるように思いました。

今回、初めての場所なのでオブジェ、花器から、うつわやポットまで、色々持ってきてくださるとのこと。うれしいです。

若杉さんは、人にはない世界を表現されてハッとさせられます。

びっくりしてたじろいではいられない。フランスに行ってそのすごさが増してきたというより、もっと本質的なものを感知して形になっているのではと思います。

2016年12月1日 店主・たかはしたいいち



### ・若杉聖子

- 1977 富山県富山市に生まれる
- 2000 近畿大学文芸学部芸術学科陶芸コース卒業
- 2002 第6回国際陶磁器展美濃（05審査員特別賞）
- 2003 多治見市陶磁器意匠研究所終了
- 2007 工芸都市高岡クラフトコンペティション（奨励賞）  
第4回京畿道世界陶磁ビエンナーレ（韓国）
- 2013 「富山ゆかりの作家たち展」（楽翠亭美術館）
- 2014 第9回パラミタ陶芸大賞展（パラミタミュージアム）  
「融合する工芸」（銀座和光ホール）
- 2015 文化庁海外派遣によりフランス留学
- 2016 10月帰国

## うつわ菜の花

小田原市南町1-3-12 電話(0465)24-7020  
小田原駅東口より箱根方面へ向かうバス利用 [箱根口] バス停下車徒歩3分  
<http://utsuwa-nanohana.com>

次回予告 箱根菜の花展示室/井上有一展 2017年1月7日(土)~1月15日(日)